

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和5年度第2回理事会議事録

日時：令和5年5月17日（水）19時00分～21時30分

場所：都臨技事務所 オンライン Web 会議システム（Zoom ミーティング）

議長：原田

議事録作成：神田

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）22名

原田、中村、米山、浄土、山方、竹澤、平木、加藤、府川、星野、岩瀬、飛知和、浅野、畑田、末永、市川、近藤、高橋監事、遠藤監事、佐野監事、栗田（役員選出委員会）、神田（書記）

以下の出席者は、Web 会議システム「Zoom ミーティング」により参加した。

（自宅より参加）2名

杉岡、三橋

（職場から参加）2名

相馬：勤務先 東京都板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部附属板橋病院

堀口：勤務先 東京都港区西新橋 3-19-18 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血細胞治療部

計 26名

欠席：米谷、山崎

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

・令和5年度第1回理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

・4月17日開催の令和5年度第1回学術部会報告がなされた。

・昨年度までは初級研修会のみをオンデマンド配信していたが、今年度より全研修会を対象として、オンデマンド配信を行う。現在アップロードの準備中である。

・第7回輸血検査研修会の参加者について、急遽参加が出来なくなった申込者の代理で参加した都臨技非会員から、生涯教育点数付与の希望があり、非会員参加費1000円の支払いがあったため、非会員参加として扱い点数の付与を行った。

・福見秀雄賞に生理研究班から1名推薦を行うことが決まった。

・都臨技のみ会員の申し込み方法について問い合わせを受け、血液検査研究班の吉田班長に対応してもらい処理が済んでいる。

・原田会長より、新型コロナウイルス感染対策ガイドラインの改変検討の依頼があり、たたき台を作成し、各研究班班長に配布した。班長からは内容の確認と提案をして頂き、まとめて執行理事会に提出する予定である。

・中村副会長より、学術研究班の再編についてお話があり、時期は未定であるが、今後は日臨技の学術研究班と同様に再編していく。

・近藤学術部長より、研究班の再編について再編の時期は未定であるという事だが、研究班幹事の任命の時期に合わせてもらえないか、原田会長から再編を行う意義について具体的な考えを聞きたい、研究班班長との話し合いの結果、再編を行わないという結論があってもよいのかについて質問があった。

原田会長から、研究班の再編については他県の研究班も日臨技に合わせるように調整しているため、都臨技としても調整を行わなくてはならない。時期について次年度は難しいため、3年後を目途に考えている。生涯教育制度そのものに見直しをかけているところであるため、その方針により都臨技の学術の在り方も変わらなくてはならない。現状は日臨技の学術の形態に合わせていくことがベストであると考えている。と回答があった。

・臨床化学検査研究班から第31回日本臨床化学会関東支部総会のシンポジウムに使用するスライドの借用および公開についての許可申請があった。

・生理検査研究班と公衆衛生検査研究班から研究班幹事の推薦が1名ずつあった。

・免疫血清検査研究班から共催許可願いの審議依頼があった。

・講師の先生が体調不良となり一般検査研究班の研修会が中止になった旨、説明があった。非会員の方ですでに参加費を入金して頂いていた方の対応として、入金した方のリストから会計部が返金対応することが決まった。この研修会が共催研修会であり、すでに共催会社より共催金が振り込まれているが、これについても返金を行うこととした。

(2) 編集委員会

・令和5年度 第1回編集部会の報告がなされた。

・今年度より微生物班の担当者が守屋氏から安藤氏、遺伝子・染色体班が神田氏から谷古宇氏に変更となった。

- ・永間氏が体調不良のため、6月号の校正待ちのものと入稿済みのものの進捗状況が把握できない状況となっている。
- ・病理・細胞診検査研究班、微生物検査研究班は2月分の研修会記録を送付済み。その他研究班の入稿はこれからとなる。各研究班の研修会は5月以降に実施予定である。
- ・理事会からの掲載希望はなし。事業報告に関しては、会誌10月号に掲載予定である。
- ・今後のシリーズについては2023年10月発行分のシリーズは2023年7月入稿予定となる。2024年2月発行分のシリーズは2023年11月入稿予定となる。
- ・2023年度の編集委員会名簿は、変更がある箇所を赤字で修正し、大竹編集長に送付した。
- ・2023年度編集部会の開催日程は、第三木曜日とし、次回からは事務所で行う予定である。
- ・研修会の報告書と会誌に掲載されている内容に誤りがあったため、原稿を提出する前に各研究班内で確認をしてほしい。（日にち、曜日、講演名、参加人数など。）
- ・初級研修会テキストの表紙はA案に決定した。
- ・原田会長より、日本廣業社と契約をしているのであって、永間氏と契約しているわけではない。日本廣業社に対応を求めても永間氏がいなければ話し合いにならない状況であり、次年度は本会誌発行に関する仕様書を作成し、相見積もりを取りながら印刷製本会社を検討するよう指示があった。

(3) 精度管理調査委員会

- ・令和5年度第1回精度管理調査委員会の報告がなされた。
- ・2022年度の精度管理調査報告会終了後に問い合わせが2件あった。
 - 1) 試料の入力値を入れ間違えてしまったが、修正可能か
→修正不可の件、連絡をおこなった。
 - 2) Ca(アルセナゾ III 法)の目標値設定について(B評価の施設)
→A・B評価は基準を満たしている旨伝達した。
- ・2023年度の資料までは、ボランティア採血などの協力を受けHbA1cなどの測定を行っていく。また、福岡ブルー血清も頂くことになっているが、来年度から他県への販売中止であるため、旧ニッスイのL-スイトロール Plus を検討している。そのため参加費用が1000円程度増額になることが見込まれるが参加施設が減少しないように、都臨技からの補助も検討している。本年度は委員内でプレサーベイの実施を行い、来年度からの採用を検討する。
- ・来年度は8月末に実施できないかを検討中である。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・2023年4月分の報告がなされた。公益事業その他についてはなく、学術研究班研修会2回開催延べ236名の登録があった。初級研修会は開催がなかった。自己申告会場研修は過去月分として2件延べ99名、4月分として1件延べ1名の登録があった。

2) 学会運営部

(1) 第18回東京都医学検査学会

- ・4月26日に学会企画委員会を開催した。
- ・講演依頼について5名の先生方にご快諾をいただいている。
 - ①ISOについて: 下田 勝二 先生
 - ②内視鏡タスクシフトについて: 加藤 博之 先生
 - ③温活(市民公開講座): 川島 朗 先生
 - ④学生や学校の立場から: 山藤 まさる 先生
 - ⑤CGMについて: 木下 久美子 先生
- ・協賛、広告について、ランチョン5社、スイーツ5社、展示10社、広告は昨年と同じ数が集まっている。
- ・市民公開講座について、昨年度は演題発表が重なり参加者が少なかったため、今年度は同時間帯のプログラムを減らす予定である。
- ・生理検査領域における精度管理についての企画ができないか、検討中である。
- ・アトラス社にConfit利用契約を申請した。
- ・市民公開講座の広報について、秋葉原駅周辺に広告などを掲示することを検討している。6月の学術部会にて企画お願い等の相談させていただく予定である。
- ・表彰選考委員会より、表彰式をランチョンセミナーの後に20分程度プログラムに組み入れ、同時刻は他の予定を入れないように調整ができないか依頼があった。
- ・学生対象講演について、どのくらいの時間プログラムに入れられるのか確認があった。
- ・各会場の入室人数について、UDXと相談し、学術部で作成しているガイドラインを参照し決めていく。
- ・市民公開講座について、東京都の後援をもらってはどうか提案があり、検討し進めていく。
- ・懇親会については感染状況を鑑みながら検討する。(着座で行うなど)

(2) 学会長推薦委員会

- ・令和5年度第1回学会長推薦委員会の報告がなされた。
- ・過去の学会長、実行委員長、事務局長経験者より意見を収集し、候補者の中から東京医療センターの益田技師長に打診を試みている。

3) 支部運営

(1) 都臨技オリエンテーション

- ・5月9日開催された都臨技オリエンテーションでは、160名の参加があった。内訳は正会員117名、入会申請中7名、非会員36名であった。次年度は懇親会も検討し開催したい。

(2) タスク・シフト/シェア講習会

- ・5月の開催は28日(日)、6月は11日(日)のみ1度の開催、7月は9日(日)、30日(日)の開催予定である。
- ・6月11日の開催は講師が揃っていないため中止になることも考えられる。

(3) 選挙管理委員会

- ・選挙管理委員会委員の選出を各支部2名ずつお願いしているが、全員揃っていないため、翌月の理事会でまとめて承認を依頼したい。

(4) 青年部

- ・青年部の委員選出を6月の理事会までをお願いしたい。
- ・選出にあたり、20代後半から30代前半の方が望ましく、今回は新たに立ち上がった委員会であるため理事の施設からの選出でお願いしたい。

(5) 健康祭り

- ・今年度の進捗状況について
東支部：江戸川は連絡待ち、江東は区役所に連絡し6月に折り返しの連絡をもらえる予定。
西支部：稲城の開催など、まだ情報が入ってきていない。
南支部：今月中を目途に情報収集予定。
北支部：いたばし健康まつりについては今後開催しないと聴いている。新宿については連絡が来次第、準備予定である。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・令和5年度第1回地域保健共催部会の報告がなされた。
- ・看護フェスタが5月13日(土)12:00~16:00 東京都看護協会 会館にて開催された。実務委員4名：原田会長、飛知和理事、畑田理事、山崎理事
- ・VRを用いた認知症セルフチェックは当日56名の方に測定頂いた。途中お待ちいただくこともあったが好評を頂いた。今後健康まつりで使用する事を想定すると、測定に時間がかかるため台数を増やすなどの対応が必要と考えられた。
- ・社会人アドバイザー交流会への参加依頼があり、STI委員の板橋幹事に参加していただく。

(2) 検査と健康展

- ・日臨技の今年度申込みは、6月9日(金)が締切り予定である。昨年度は、スカイツリータウンで実施したが、クリスマスツリー設置によりスペースが狭いため場所を検討することとした。
- ・5月30日会場の下見を行い、それを踏まえて5月31日委員会を開催予定である。

(3) STI 予防委員会

- ・令和5年度第1回STI 予防委員会の報告がなされた。
- ・性の健康医学財団の季刊誌への入稿は完了した。
- ・予防教室を行っている葛飾区立青戸中学校の養護教諭が異動され、異動先での予防教室を開催して欲しいと依頼があった。予算上問題がなかったため予防教室を追加開催することにした。
- ・中島常任委員と青山幹事から退任の意向があり、常任委員として推薦が1名あった。
- ・次回6月14日にSTI 予防委員会を開催予定。

(3) フォーラム委員会

- ・7月に開催予定である。

(4) 教育施設連絡者会議

- ・6月様子をみて7月に会議を行う予定である。

5) 会計部

(1) 会計部報告

- ・2023年4月の収支会計報告がなされた。
- ・事務員の交通費について、現在一ヶ月分の定期代を算出しお支払いしている。パートタイム事務員就業規則には実費支給とあるため(第6章 賃金 第26条②)、契約更新の5月のタイミングで庶務部長から説明し、実費支給に変更する。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・会員数報告がなされた。正会員数7207名、賛助会員65社、学生会員4名、名誉会員13名。
- ・新入会会員の審議依頼がなされた。
- ・賛助会員で会費未納である会社は5社であった。
- ・委任状について、依頼した会員の施設から施設独自の委任状を作成するよう依頼があり、対応をとった。
- ・令和4年度の事業報告書が完成し、東京都へ提出が完了した。
- ・期末監査の報告書は監事の先生方に捺印いただき報告が終了した。
- ・令和5年度の総会について、議案書の校正が終了し5月19日麹町郵便局から発送される。
- ・議案書にはチラシを2部同梱予定であるが、信書に該当し第一種郵便物の扱いとなる。そのため送料がトータルで100万円を超えることになった。

- ・総会に関わる代議員用の開催通知と総会説明文、出欠の連絡票、議決権行使書の確認がなされた。
 - ・総会のシナリオについて確認がなされた。シナリオの各役職の指定は執行理事会で決定する。
 - ・総会の議長を中川中央充氏、議事録署名人を三輪佑果氏に決定した。
 - ・総会当日の会場レイアウトや必要備品についての確認がなされた。
 - ・総会当日に代議員が欠席した場合の生涯教育の点数付与（議決権を行使した場合など）については昨年度の対応を参考に対応を決める。
 - ・令和5年定時総会での有効票および採決の定義を以下とする。
- 6月8日午前10時までに東京都臨床検査技師会事務所に到着した議決権行使書を有効とし、無記名の場合は無効とする。また、採決は有効票のみで行うこととし、有効票の過半数以上をもって承認とする。議案書は、4月理事会で承認された分までの正会員に5月19日に発送予定である。代議員の議決権行使書についても5月19日発送予定である。

（2）役員選出委員会

- ・新委員が決まり次第、申し送りを行う予定である。

7）事務局

（1）事務局報告

- ・2023年4月の事務局報告がなされた。
- ・糖尿病支援ネットワークから、HP掲載依頼と後援依頼の申請書がきている。

（2）表彰選考委員会

- ・第1回表彰選考委員会の報告がなされた
- ・緒方富雄賞について1名の推薦があり経歴、発表等を協議した結果、推薦することとした。
- ・小島賞、福見賞の授賞式は6月9日金曜日に行われる。
- ・推薦の挙がった方について、結果の報告を推薦者に連絡するように検討する。

（3）広報委員会

- ・2023年3月分の報告がなされた。ホームページのリニューアルに向けて株式会社ラヴァーレと話し合いを行い、再度見積もりを提出して頂いた。予算内の見積もりであったが、今後も内容について見直しが必要と考えている。
- ・LINEのアップグレードを6月に行う予定である。
- ・議案書と同梱予定の会員ページIDとPWのチラシについて、今後は信書扱いになるかを事前に確認し印刷物の用意を進めていきたい。今後新たに新入会された会員には、会員カード送付のタイミングで会員ページIDとPWを送付したい。事務員への指示を庶務部が行う。

8）副会長報告

（1）杉岡副会長

- ・第72回日本医学検査学会への参加、宜しく申し上げます。
- ・購入したタブレットを理事会などの会議の場で有効活用して欲しい。

（2）中村副会長

- ・記念誌の発送遅延について、原稿を執筆して頂いた方には必要に応じて報告を行う。

（3）米山副会長

- ・都臨技会章の公募について期間を8月いっぱいに変更した。

9）会長報告

- ・東京都献血推進協議会血液製剤適正使用部会の委員を引き続き名倉氏に依頼し、承認を頂いたため、都臨技から推薦をする。
- ・全国会長会議が4月22日に開催された。資料と各都道府県会長から挙がった質問の回答書が日臨技から送られてきている。一読をお願いしたい。
- ・東京都福祉保健局から医療従事者ネットワークの開催お知らせがきている。参加登録が5月24日までとなっている。検査技師の参加人数は例年少ないため、是非視聴をお願いしたい。

10）その他

- ・特になし。

3. 審議事項

- 1) 生理検査研究班幹事の推薦（石神氏）について審議の結果、承認された。
- 2) 公衆衛生検査研究班幹事の推薦（池谷氏）について審議の結果、承認された。
- 3) 臨床化学研究班のオリエンテーション資料借用について審議の結果、承認された。
- 4) STI 予防委員会常任委員の推薦（宮本氏）について審議の結果、承認された。
- 5) 新入会会員127名（新入会114名、再入会13名）について審議の結果、承認された。
- 6) 学生会員2名について審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し 21 時 30 分に解散した。本日の Web 会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2023 年 5 月 17 日 (水)
公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 神田裕介

議長
(原田)

原田典明



監事
(高橋)

高橋香治



監事
(佐野)

佐野和三



監事
(遠藤)

遠藤盛人

